



社会福祉法人鶴風会

後援会ニュース

No.34 (平成七年)

社会福祉法人鶴風会

後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1
☎0425-61-2521
事務所・東京都中野区
本町2-15-13 ☎03-3372-7650

戦後五十年を迎え、皆様にも御感慨一入の事と存じます。この意義ある年に主たる新病棟が出来上りました。あと改造工事と造成が来春には終了し、桜の季節には懸案の新施設の御報告が出来る事と存じます。今後ともよろしくお願い申し上げます。今号は東京小児療育病院・みどり愛育園の看護長・ケイスワーカー・指導員による院・園内の様子を御紹介致します。

二人のタケちゃん

ケイスワーカー 清宮祥子

後援会の皆様にはいかががお過ごしでしょうか。阪神大震災の記事の載らない日はありませんし、今年には相次ぐ不穏な事件に驚くばかりです。まもなく八月十五日を迎えますが、悲惨をきわめた世界大戦から五十年、あらためて今年は祈りの年なのだと思ひ命を祈りながらお祈りします。

おかげさまで施設の建て替え工事は順調にすすみ、新病棟の完成も間近になりました。数々のご支援心よりお礼申し上げます。

病院の近況をいろいろご報告したいと思いましたが、祈りの年と

決めましたら、今回は「タケちゃん」の事をお知らせしたくなり

一月、二月、インフルエンザは猛威をふるい外来の診察室は朝から点滴の用意がなされ、おもちゃライブラリーでも点滴が行われま

ました。タケちゃんは昭和六十一年五月、二才の時に大病院から

東京小児の方に肢体不自由児の措置で入院してきました。大変重症で心臓の病もあり、都内のどこ

ちゃん(湯舟)のなかで気持ちよきうに、にっこりほほえむ笑顔がスタッフの無上の喜びだったとききます。だんだんタケちゃんの呼吸はつらくなりベッド上で訓練を受け授業もベッドサイドで行なわれ、やがて、二十四時間酸素テントのなかで暮らす様になりました。



もうひとりのタケちゃんのことに移ります。悲しみのうちにも嬉しい電話が飛びこんできました。

そんな中で静かにつぶらな瞳を閉じました。主治医の長先生はタケちゃんをだいてベランダに出て「さあタケちゃん外の空気だよ。本当は外の空気をいっぱい吸いたかったんだよね」と泣きながらタケちゃんに話しかけておられたとききました。執念とも思える医師の力と手厚い看護に命をながらえ、保育と教育を受けることができました。下のお子さんが学校にあげる頃タケちゃんママに、待合室にと絵を描いていただきました。おもちゃライブラリーの天井にはパネルをつくらせて下さり、見る度にタケちゃんファミリーを思い出すことができます。

タケちゃんは千葉市で祖父母に育てられました。脳性まひとわかりおばあちゃんがおぶって訓練に通うのは大変ということで児童相談所より入院の依頼がありました。一才半の元気な坊やですが手がかりですので、どこの肢体不自由児施設でも受けとめてもらえず、昭和五十九年一月に入院しました。

盆と暮れしか千葉のお家に帰れませんでした。利発な子でよく頑張りました。

年齢になろうとする時、普通校に通わせたく、県内の肢体不自由児施設にと申し出ましたが、かなわず、それなら養護施設か里親をと、ねばりました。おじいさんの具合が悪く面会は遠のき、外泊も大変負担になっていました。タケちゃんのケース会議では、病院より武蔵村山市立第六小学校に通わせようということになり、市教育委員会に就学相談を申し込みました。都の教育委員会は村山養護学校が適といっているので指導機関に逆らえないといわれました。びっくり仰天です。そういえば都教委の先生方はタケちゃんを見て、本来こういう子のための肢体不自由児教育の場なのだといわれたことを思い出しました。施設変更もありうるし保留だったはずなのにと、怒りは頂点に達しました。院長には、養護学校なら就学を拒否してもいいですね」と了解をとり背水の陣で市教委に再三お願いしました。

三月二十日頃だったと思います。もう春休みに入ってしまうところにタケちゃんの体験入学が決まり第六小の一年生のクラスにいきました。普通の子どもたちの喧騒に足

がすくんでしまいタケちゃんは教室に入れません。ここで尻込みされてはと思わず背中を押してしまいました。あとは平気で机につきしきりに子どもたちの様子を伺っていました。教頭先生は昔ポリオの子どもを受け持った経験があり、是非普通教育をといわれました。不自由な子のために他の子が遅れをとってはいけないので、介護者をつけてほしいといわれ、一週間のうちに月曜日から土曜日までのボランティアを探さなくてはなりません。社協に頼み、民生委員を頼り、元職員に相談、元入院児の養護学校のお母さんに頼み、外来

のお母さんにもと、なんとかか六人そろいました。四月一日あらためて第六小学校にいき校長室で担任を引き受けてくださった先生方と、市教委の方たちと打ち合わせの場もたれました。なんと都教委の就学相談の担当も同席、『このボランティアの方

い時はどうなりますか』と意地の悪い質問をされ、『病院の方でなんとでもいたします』と返事をいたしました。朝の学校送りは経験者で、すぐにタケちゃん担当のOT、ST、心理、栄養士、CW、そしていつも八時前に出勤しているPTが快諾してくれました。タケちゃんは杖をつけて懸命に歩いて登校しました。日中のボランティアの方々のピンチの時は実いろいろな方に助けていただきました。三十人を超す人たちの支えがあって就学が可能だったといえます。

二年生の夏休みの頃でした。児



童相談所より、里親になりたいという方がいます」と連絡が入りました。松戸市にお住まいで三人のお子さんがあると伺いうれしくなりました。結婚前は養護施設で保母として働いていたことがあり、学生時代は車椅子の方のボランティアをして親しくなり、教えられることがいっぱいありましたと話してくださいました。はじめは病棟のタケちゃんのグループの子どもたちみんなと遊びました。回を重ね、準備をすすめ、翌年三月には退院の運びとなりました。四月から松戸市立西小学校に転校となりましたが、あちらでは日中母親による介助や校内での待機はほらないと伺い、ほっといたしました。卒業式には二年続けてボランティアを引き受けてくださった民生委員の楠木おじさんが出席して下さいました。千葉からおばあちゃんが来られ、四年ぶりにお目にかかれました。午後からの会議のために式のみで失礼せざるをえませんでした。赤塚さんと西小学校の先生方、おばあちゃんとゆっくりお話ししながらタケちゃんの卒業を祝うことも、赤塚さんに感謝の気持ちを充分伝えることもできずしてしまいました。タケちゃんは杖に頼らずに歩ける様になっていました。

中学校に進みました。

ふたりのタケちゃんの長い入院生活のほとんど全部省いたような報告になってしまいました。鶴風の先生方が早期療育のともしびをと高く掲げて呱呱の声をあげましてから三十年となります。採算を度外視しても福祉の谷間をうめてゆく療育実践が行なわれてきました。今その精神の暖かさとして正さを知ることが出来ます。幾多の困難を乗り越え、民間施設でなければできなかったであろう数々の貴重な活動を展開しております。どうぞ後援会の皆様のお力添えを今後ともよろしくお願い申し上げます。皆々様のご健康を心から祈り申し上げます。

今、思うこと

看護部長 大谷 巖

自己紹介させていただきます。

大谷巖53才 B型 てんびん座
性格 温和(一本気?) / 趣味
テニス / 家族構成 家内と息子
2人 / 自宅 東大和市

さて、国立精神・神経センター 武蔵病院に在職時代から東京小児療育病院とは縁がありました。古い思い出では高校生の頃ボランティアで伺った記憶もあります。

若かりし頃、武蔵病院で重症心身障害児(者)病棟の開棟に関わり、看護師として初めて子供達と出会いました。当時、室伏先生(現国立療養所菊池病院長)が医長として着任されたあと、鈴木院長に引き継がれました。なにしろ私以下職員は素人でしたから、先生の指導のもとに勉強させていただきました。昭和道に乗ることができました。昭和59年頃でしたか先生が東京小児療育病院に移られ、私も後を追うように地方の国立病院(一般)に転勤を命ぜられてから、単身赴任の生活が続くことになりました。国立下志津病院で在職中、どうしても子供達の笑顔が忘れられず先生にご相談したところ、快く引き受けて下さり平成5年4月に入職させていただきました。

着任当初男性の看護婦さんばかりの薄いためか、スタッフの方々が私とどう関わったらよいのか戸惑いがあったようです。特に療育員の方々はいまでもそのようですが、今まで女性看護集団のなかで人に言われぬ苦労がありました。今後は以前にも増して多職種の方々との関わりが立场上必要となり、看護一遍淘汰の考えも変化しようです。25年間の看護人生のなかで初めて「療育」に出会い、障害児(者)の方々と共に

生き抜く初心の気持は今も持ち続けています。

みどり愛育園の行事について 「みどり祭りを中心に」

指導員 一又太郎

平成6年7月に前総婦長であった加藤さんの後を引き継いでからそろそろ一年になりますが、私なりに当施設の水になじむ様になりました。まだ歩き始めたばかりです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

みどり愛育園では毎日の生活をより変化を持たせるために一ヶ月に一回行事を行っています。花火大会、クリスマス会等の園行事、バスハイク、みかん狩り等の病棟行事、またひなまつり、七夕等の季節行事や毎月の誕生日会があります。みどり愛育園のメインの行事は「みどり祭り」で、数年前まではみどり愛育園の二つの病棟と通園青年部が合同運動会を行って来ました。園長より、地域の方々との触れ合いも含めた行事を、との要請もあり、五年前から「みどり祭り」を行っており、今回で五回目となります。

市役所やお店等にポスターを貼ったり、各個人宅には新聞の折り込みを入れたり、と色々に協力

をお願いで徐々に地域の方々への参加も増えてきています。

父母の方々においては一回目は一緒に参加していただく形で模擬店に参加してもらったりしました。次の回からは園生たちと一緒に模擬店を回ったり、出し物を見たりゲームに参加したりと一緒に楽しく過ごせるようになりました。

ボランティアについては地域の方々や今まで関係した方に呼びかけ、園生の係に、模擬店の係に、ノコギリバイオリン演奏、手品、パフォーマンス等にと百名以上の参加が見られるほどの盛大なものとなってきており、ボランティアなしでのこの行事は組めない状況になってきています。いつも感謝しているところです。

みどり祭りの内容は、模擬店を始め、変身写真館、お話し、軽音楽等の演奏、ゲーム、くじコーナー、手品等の出し物があり、園生たちは各コーナーを父母、ボランティア、職員と一緒に遊びながらまわり、祭りを楽しみます。今回も十月十五日(日)に行うことが決まっています。園生たちも健康で多くの参加が出来るように望んでいます。

♡ チャリティ・バザールへのお願い ♡

日時 平成7年11月12日(日) 場所 東京小児療育病院通園棟多目的ホール及び院庭

昨年のチャリティ・バザールには、多くの方々や協賛会社の御支援によりまして、600万円余の純益をあげる事ができ、誠に有難く、施設の全面改築の資金の一部として大切に役立たせて戴きます。厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願い致します。食料品、調味料、酒類、石鹸、洗剤、陶、漆品、文房具、書籍、衣料品(新品又は新品に近いもの)など御寄贈をお願い申し上げます。

○御寄贈品は既に受付ております。

○連絡先 病院 武蔵村山市学園4-10-1 ☎0425(61)2521

後援会 東京都中野区本町2-15-13 ☎03(3372)7650

♣ 第7回チャリティ・パーティ コロニスの会への御誘い ♣

第6回コロニスの会は、昨秋、帝国ホテルに600余名の皆様がお集まり下さり、盛会裡に400万円の純益をあげる事ができました。一重に、ご協賛下さいました企業、御参集の皆様のお厚情の賜物と一同感謝致しております。本年は元宝塚スターのお2人 笹 潤子・初風 諄さんが賛助出演して下さいます。

年末のお忙しい時期ではございますが、お誘い合わせ、御参加下さいます様、お願い申し上げます。

日時 平成7年12月13日(水)
場所 帝国ホテル(孔雀の間)夕刻より
予定人員 600名

連絡先 鶴風会後援会 コロニスの会
東京都中野区本町2-15-13
☎03(3372)7650

鶴風会後援会(寄付者)芳名

平成七年二月〜七月
延四五〇名(敬称略)

赤司 俊雄・相沢ミツエ・姉小路和子
青木 悦子・赤羽 久子・赤川 セツ
秋山 延子・新井 恒子・新 淑子
足立 嘉子・新 幸子・荒木美枝子
朝山 裕・相見 豊子・青木 盤鳳
浅野 京子・青木りう子・朝倉キク子
阿部 正和・阿部 芳久・安藤 高夫
秋元奈保子・赤沢 孝子
井上 瑞穂・伊藤 禮・五十嵐いづ子
石川 静子・石田 文枝・井上 裕子
岩重 泰子・一宮 勝也・伊藤 公子
石原 純・井上 種子・飯田 久代
伊藤 葛子・今野 綾子・石川 文子
石橋 幸夫・石橋百合子・今井まつ江
石橋美恵子・池田喜久子・今村貴美子
石田 芳子・井上 礼子・岩淵千雅子
石川 巖・今井 千草・今井 一男
伊東 モト・市来フジエ・伊藤 文子
泉水 昇・泉 俊昌・岩崎 節子
井形 厚臣 白井 重三
内ヶ崎仁子 牛込莊一郎 梅原 公江
瓜田 キヌ 梅沢 重一 梅沢美和子
上木 艶子 白井 彰 内 孝
梅田 正法 梅田みほ子 内村富士子
白井登世子 植田セツ子
荏原 光夫 荏原 寿枝 江口 環禧
江川 巖 江川 惠基 江部 寛
及川 貞 及川和加子 大脇 照枝
大熊 進 奥田 嘉門 織畑 秀夫
大関 忍 岡村シマ子 小原 該一
岡田さと子 沖永 洋子 沖野 佳子
小野 丞二 小野 和郎 大下富美代
大日方惟忠 大橋 和男 小田桐 恵
奥村 研三 大木俊一郎 大和田篤雄
岡部 良子 小原 明 王 碧雲
大垣 尚子 釜池登志子
亀谷 了 勝田三枝子 河合 典子
神田 敬子 加嶋伊勢子 河津 緑
金森 勝士 笠原 綾子 門屋 数子
兼松 晴彦 神林 隆元 神林小夜子
勝目 愛子 葛西まゆみ 川野 親子
加藤 元浩 川上 武子 勝見 千明

河内 泰彦 川北まりえ 鹿島田忠夫
金子クニ子 梶島 史子
木村甲子郎 岸 直枝 岸 芳正
菊池志げ子 木山 博夫 北野千賀子
金龜糸業(株) 京谷恵美子
倉富 孝子 蔵並 きん 久木山久枝
楠 后代 倉根 理一 黒田 節子
熊野三和子 熊谷 健伸 月花 亮
久保 修一 久保 初美
幸田 文一 幸田 トミ 幸田トモ子
小林 義郎 駒林とめ子 古賀 和子
呉 政子 小松 栄一 後藤すみ子
小林 一雄 小林登喜子 河野 静代
小林 静江 小屋 二六 後藤 みち
小出 誠 小竹原良雄 小竹原安見
神津 康雄 神津 玲子 今野 信子
近藤とし子 近藤 弘子 今野 貞子
後藤加寿美 佐藤 つや
斎藤イサヲ 佐藤 艶子 佐々木 綾
指田 和明 斎藤 富美 斎藤みどり
斎藤 達子 佐藤 幸子 先山 隆司
佐藤 芳子 佐川千枝子 佐渡 昌子
佐々木泰子 斎藤 俊郎 佐々木徹郎
西井 孝夫 佐々木胤郎 佐々木徹郎
斎藤 勝 斎藤 敏子 鮫島紹一郎
斎藤 康子 白木善四郎
正田二寿子 霜鳥 トミ 島 和
東海林幸子 白浜 光子 志村 光久
嶋田 寛子 島津和貴男 篠塚 裕子
渋谷 昌良 城 妙子 志島眞理子
渋谷 朝子 篠崎 松江 上司 フジ
島崎 智子 篠田 千和 白井 貞子
清水五百子 新藤 ケイ
末吉 実子 鈴木 和子 鈴木 誠一
鈴木 稔 杉本 とし 鈴木 達夫
杉山 卓哉 杉山 尚子 菅野 訓子
鈴木 光子 鈴木 秀明 鈴木 修
鈴木カツ子 杉立眞理子 須藤 操
関口 喜久 関野 佳久 関本 久栄
関 俊子 側垣 恵子
添田 百枝 相馬 直子 宗 恒雄
袖山 昌子 副島 靖雄
高桑 幹雄 田郷 寿正 竹下 こと
田中 正子 竹内美恵子 多比良 勉
田中 浩 高槻 義夫 高月 正宏
竹内 神奈 田宮 親 竹内富美子
高橋 龍子 武居 正郎 武 節子

竹下 文雄 竹下 寿子 高久キノコ
田中 園子 田沼 博 高木 正人
竹沢 修一 田尾 美枝 高橋 久子
多田 久人 谷 絹子 田中 明美
田原 久子 武石 正子 武田なを子
高橋知愛子 高橋 能子
千葉 正子 枕 在俊 鎮西 赫子
千竈 学 津金 修作 土屋 洋子
鶴岡 康子 月本 一郎 月本 伸子
辻本公美子 壺坂比路里 津田 秀子
坪井 康次 堤 俊一郎 土屋 俊文
出構 照 寺野 亮子
豊田 道子 豊重 隆幸 富岡 瑞子
富沢千代子 徳島 久子 戸塚 昌子
遠山 美知 東邦会宮城県支部
飛谷 良子 富山佐起子
中島 由紀 中村富美代 長野 文子
直井喜美子 中川 甲子 成毛 典子
中山 年子 中沢 弥生 長井千鶴子
中根 幸枝 永田 保子 中村 絢子
中村 克彦 中村志津子 中倉千鶴子
中島 京子 永沢 康滋 長岡 貞雄
中里恵美子 中野 実 中西 康隆
並木 温 仲村 健一 中澤 隆
長尾 秀子 永島美江子 中村きよ枝
中谷 尚登 中村 一男 中村 徹
中村 道子 中川 雅明 中村 光彦
中村 広行 中里 要子
西岡 将 西平 守夫 新谷 芳子
西崎 照子 西宮 常代 西沢 憲司
西田 隆寛 根本 哲生 根本 優子
額田 久子 野津ゆきの
野村眞世子 野口 道子 能登路民子
延島 幸子 野村 直子
蜂須賀ふみ子 林 堪子 畑 靖子
橋本 静子 原 美知 浜田 雅
蜂谷イソ子 長谷川 淳 萩谷 淑子
林 敬一郎 原田チイ子 萩原 マチ
橋詰 直孝 早川 好古 原田 孝
早川 浩市 林 栄子 早原 千鶴
坂堂美都子 番場 哲司 原田千鶴子
峰矢 朗彦 峰矢由美子 萩沢 雅子
平沢 幸子 東出 祥子 平山 ゆき
平沼扶美子 東野 寿美 樋口 正俊
樋川 歌 平嶋 信子 久武 朋子
久松 綾子 福田 栄子
藤田ルリ子 府川 則子 藤岡美津子

福永 光子 藤田よし江 福井恵美子
藤野 隆子 福田 健 福井 卓也
古橋 文武 堀 友之進
星野 和子 本田 哲子 星野 光子
本田美代子 本間れい子 星野 昌子
三登 和代 松下 美代 松岡知恵子
松岡 玉枝 松野マサヨ 松井寿美子
松本 知子 松村 あや 松浦 禎子
松野 裕子 丸茂みや子 馬嶋 順子
松岡 昌子 松井 吉彌 増岡 陸浪
松丸ちづる 前田千代枝 牧 三樹子
増田 和人 松岡 栄子
三浦 眞一 宮本 みち 宮崎 信
宮前智恵子 宮川美智子 宮内美智子
溝部ゆり子 宮本 次夫 宮田 誠子
村田 達江 村上美千枝 村川世津子
守屋 孝子 百瀬 貞子 森川 幸江
森 克彦 森 勉 森 絃子
諸富 杏子 諸岡 芳野 森田 功
森澤 豊 森 喜一
柳谷 紀子 山田三枝子 矢島 正
山住美津子 柳沢 信子 山崎ふさ子
矢高レイ子 柳澤 博子 矢野 春雄
山崎 義郎 山出 孝子 山口 宗之
山崎 郁子 山瀬マサ子 山田 今子
安土 達夫 山田 規子 山田 記一
山村百合子 山口 之利 山口 美穂
山口真佐恵 山川ふみ子 山中みよ子
山川 昌一 湯川 玲子
由布 水城 良田 圭子
横山 正子 吉田 栄子 米沢 マチ
横山 杏子 吉見 梓 横山ちとせ
横手 方子 横山 隆子 横田 照衛
渡辺 和子 渡辺古都江 渡辺 静子
渡辺 喜代 和田 俊洋 脇田 昌子
渡辺 里喜 若月 澄子

杉本 佳枝 関根 雅弘 田原 千聖
永井喜三雄 保坂 忠孝 摩尼 英晴
松岡 秀夫 松岡ミヨコ 松本 道明
守田 洋 吉永 勇男 渡辺 高志
渡部 勝則
社会福祉法人鶴風会へ
ご寄付者・企業・団体ご芳名
平成七年一月〜三月
延五〇件(敬称略・順不同)
えのきの森芸術祭実行委員会
大森祭実行委員・キッコーマン(株)
コロナの会 志村栄光教会・ニコソ(株)
(株)信託協会 電気化学工業(株)
電気事業連合会 凸版印刷(株)
(株)東京銀行協会 宮寿会
東京小児療育病院・みどり愛育園父母の会
日本光電メビコ(株)多摩営業所
富士ゼロックス(株)
富士ゼロックス端数倶楽部
青木 継穂 阿曾 滋子 岩本 靖雄
石原 昂 一又 太郎 大塚 周二
来住野利男 倉島 摂子 佐藤 登
佐藤 正彦 鈴木 文子 関口 力
田所 孝生 千ヶ崎 新 中島 英子
二宮 文乃 山根 律子
(募金箱)
セブンイレブン江戸街道店
東京小児療育病院医局 医事受付
ますたや 丸善無線 森本クリーニング
白水 真二 珈琲茶羅

☆御寄附振込方法☆

後援会ニュースと合わせて郵便局
の振込用紙のみを同封致しております
が、銀行の方が御便利の方は下記
へお願い致します。
○三菱銀行中野支店(店番151)
○普通預金
○口座番号 4107235
○口座名
社会福祉法人 鶴風会 後援会